

家庭学習の充実に向けて

令和4年7月
府中市教育委員会

基礎・基本を定着させるためには家庭学習が大切です。お子様の家庭学習を充実させ、基礎・基本の定着を図るため、家庭学習のポイントやタブレット端末を活用した夏休み中の家庭学習の例などをまとめました。御家庭でお子様と一緒に御覧いただき、家庭学習の充実に御活用ください。

家庭学習のポイント



学校で学習したことを身に付けるためには、家庭学習が欠かせません。また、家庭学習に取り組むことで、苦手なことを克服したり、得意なことを伸ばしたりすることもできます。習い事や部活動の予定があって、時間をとることが難しいかもしれませんが、少しずつでも、毎日の家庭学習に取り組んでみましょう。家庭学習に取り組む際には、以下のような点に気を付けると、家庭学習の充実や習慣化に繋がります。

毎日
取り組む

宿題から
取り組む

自主学習に
取り組む

目標を決めて
取り組む

集中できる場所で
取り組む

時間を決めて
取り組む

学習への取組状況を振り返りましょう



終業式には1学期の学習状況を示した通知表がお子様に渡されます。通知表には、学習面や生活面でのお子様の頑張りや状況等が示されています。お子様の頑張りを認め、夏休み中の学習の取組や2学期以降の目標などについてお子様とお話してください。

また、東京都が小学校4年生以上を対象に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（以下、「都調査」という）の結果が、9月上旬までに各家庭へ個人票として返却されます。「都調査」の個人票には、お子様の学習の状況等が記載されています。学校のテスト等の結果と比べることで、お子様自身が自分の学習の進め方の良い点や改善点を理解し、今後、どのように学習に取り組むと良いかを考えることができます。ぜひお子様と一緒に、1学期の通知表や「都調査」の個人票を基に、普段の取組を確認してみてください。

参考：「保護者の皆さんへ お子さんの学力向上のために大切なこと」（東京都教育委員会）▷



府中の自然や文化に触れてみましょう



府中市には、浅間山公園や郷土の森公園などの豊かな自然、府中市美術館や郷土の森博物館などの文化施設、府中市ならではの伝統文化や伝統行事など、豊かな自然・文化があります。夏休みの機会に、親子で身近な自然や文化に触れたり、地域の伝統行事に参加したりしてみたいはいかがでしょうか。



府中市では、市内の児童・生徒が府中の歴史や文化、優れた美術作品に触れることで、意欲的に自主学習ができるように、郷土の森博物館、府中市美術館の入館料が無料になる「府中っ子学びのパスポート」（中学生には「美術鑑賞の手引き」）を配布しています。実物に触れる、本物を見えるという体験を通じて、本やインターネットだけでは伝わらない多くのことを感じることができます。ぜひ御活用ください。

家庭学習にタブレット端末を活用してみましょう



タブレット端末の持ち帰りが始まっています。ノートや紙のドリルを使った学習の良さはもちろんありますが、デジタルの良さを生かした家庭学習も選択することができるようになりました。以下に、タブレット端末を活用した家庭学習の例を示しましたので、参考にしてください。

☆自分の興味や関心のあることを追究する

調べたことをまとめよう



▷身の回りの気になった事象についてカメラで記録したり、インターネットで調べたりして、Google スライドなどにまとめてみましょう。

動画に記録して練習しよう



▷リコーダー、合唱、ダンスなどの練習を動画撮影し、動きのポイントなどを確認しながら振り返り、繰り返し練習してみましょう。

自分だけの読書ノートを作ろう



▷読んだ本のタイトル、著者、一言感想などの記録を Google スプレッドシートなどに蓄積して、自分だけの読書ノートを作ってみましょう。

プログラミングに挑戦してみよう



▷Scratch（スクラッチ）などのプログラミングが体験できるサイトを利用して、プログラミングに挑戦してみましょう。

「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」▷



☆苦手な分野の克服や得意な分野を伸ばす

e ライブラリアドバンスを活用しよう



▷e ライブラリアドバンスは、小学校 1 年生から中学校 3 年生までの教科の学習に取り組むことができるドリル型学習コンテンツです。

▷学習履歴を基におすすめの学習を提案してくれたり、テーマに沿って基礎から学習を進めたりすることができます。

▷苦手な分野については、復習が必要な内容が提案されるため、苦手な分野を克服することができます。

※右側の QR コードから e ライブラリアドバンスの家庭学習活用ガイドを御覧いただけます。



英語のデジタル教科書等を活用しよう



▷小学校 5 年生以上に導入されているデジタル教科書には、音声読み上げ機能（読み上げ速度の調性ができます。）があります。教科書の本文等の音読を聞き、音声に合わせて声を出すことで、英語を聞くことや読むことの練習になります。

▷Google chrome の音声入力を活用して、正しく発音できているか確認することができます。英語のデジタル教科書で読む練習をした後に、Google chrome の音声入力を使って音読をし、音声入力が正しく表示された時と正しく表示されなかった時の違いを確認してみましょう。単語、熟語、文章など徐々に読む量を増やしていくと力が付いていきます。

▷以下のサイトでは、英語で「話すこと」の練習等ができます。

「TOKYO ENGLISH CHANNEL」（東京都教育委員会）▷

